

東北大・企業の最前線紹介

東北大や東北の企業の科学にまつわる最新の話題を分かりやすく紹介する科学雑誌「テクノフロップス」(NPO法人科学協力学際センター発行)の「写真」が、定期コーナーの「ヒット」が、有料購読を望む声が相

ヤッチフリーズを「おもしろ科学」で、ちよつとブレイクタイム」とし高校生でも理解できる内容になっている。

話題の研究者が登場し、専門分野の魅力を語る。創刊は二〇〇六年十一月で、仙台市の公共施設などに置いて無料配布していた

仙台市の書店「金港堂」で発売されている。

A5判、三十二ページでフルカラー。写真をふんだんに使い、最近の研究成果、研究施設、大学発のベンチャー企業を紹介している。キ

の裏側を見る！」では、シツクハウスや排水などの環境分析、化粧品や自動車の車体に使われるシリコン開発など、企業活動の最前線を解説している。「研究者の横顔」は毎回、東北大の

「次ぎ、今月、書店販売を始めた。四百八十円(税込み)で年四回発行する。センターは東北大教授らで構成。代表理事で発行人の川添良幸東北大教授は「これまで大学生や市民

仙台発の科学雑誌発売



が気軽に手に取れる科学の啓発雑誌がなかった。仙台の科学活動の素晴らしさを知ってもらい、大学生の地元定着を促したい」と話した。